



国引きエクスペディション 2013・2014 レポート

作成 2015/03/19

ガイナカヤックス

森山 尚

【旅の始めに】

島根半島は大山隠岐国定公園にも認定されているとても風光明媚な場所です。
国引き神話の舞台でもあり、古代から変わらない自然美が色濃く残っているのも特徴です。
西は縁結びでおなじみの出雲大社、東は全国えびす神社の総本宮美保神社があり、双方を結ぶ旅路はたいへんおめでたいものと古来より言い伝えられています。

国引きエクスペディションはフルスケールの島根半島をアウトドアスポーツで1周し、
神々の偉業＝自然の造形美、地域に根付く歴史・文化を体感し後世へ語り継ぐ旅です。

【行程】※時間配分は計画時のものです

出雲大社から美保神社へ古代の道＝海上 を行く旅路：シーカヤックにて

1日目

5:00 出雲大社で旅の安全を祈願
6:00 稲佐の浜を出発
11:30 小伊津海浜公園 午前移動距離 28.5km
11:30～13:00 昼食休憩
13:00 小伊津海浜公園発
17:30 桂島着 午後移動距離 22.5km
総移動距離約 51km、所要時間約 10 時間
島根町桂島キャンプ泊

2日目

桂島発 7:00
七類北岸着 11:30 午前移動距離 22.5km
11:30～13:00 昼食休憩
美保関着北岸発 13:00
美保関港西岸着 15:30 午後移動距離 13.5km
移動距離約 36km、所要時間約 8 時間
美保関の旅館泊

3日目

美保神社から出雲大社へ現代の道に行く旅路：自転車にて

7:00 美保関神社発
えびすだいこくマラソン選手をサポートしながら出雲大社へ 100km (ランナーと同じコース)
19:30 最終ランナーとともにゴール

【旅路の紹介】

第1回目 平成25(2013)年5月24日(金)～5月26日(日)

60年に1回行われる出雲大社平成の大遷宮と重なりおめでたさ倍増。

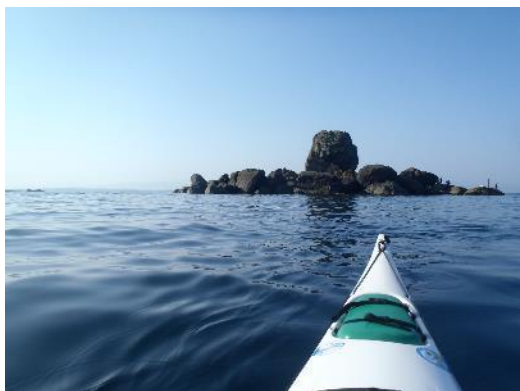
国引き神話の巨大パネルの前でポーズ。世界観も加速します。

1日目 5/24(金) 天候：晴れ 風：東 6m/s 気温：12～29℃ 波高：1～1.5m



海上から眺めると長浜～三瓶までの地形がリアルに国引き神話の杭と綱に見えます。

地質学的には三瓶方面から流れ出た神戸川（斐伊川もかつては日本海へ流れていたとか）の運ぶ土砂が堆積し、永い年月をかけて離れていた半島と繋がったのでしょうか。宇宙的視野での自然観察はいつの時代に誰が唱えたのでしょうか。その営みが神話という形で伝わっているのかなとも思います。ともあれ太古のロマンに思いを馳せながらの出発です。



稲佐の浜は国譲り、つぶて岩は神様の力比べの伝説があり、旅路には次々と神話縁の風景が現れます。

日御碕を越えて十六島あたりまでは入り江や洞窟も多く、カヤックツーリングを楽しめるフィールドが多数あります。神々の森ツアーという定番コースも人気です。



島根半島最西の日御碕を回る



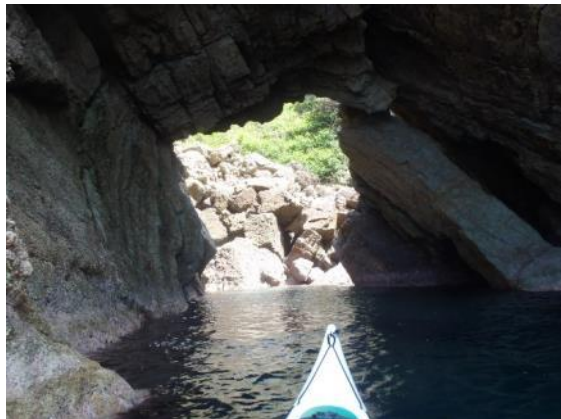
海の回廊



十六島湾 4km を一気に横断。東風をくらいながら進みます。風力発電所が多数。



小伊津で一休み



入ったことのない洞窟があれば寄り道



鹿島の先がぼんやり見えます。
果てしなく遠く見えるのですが、ゆっくりとパドリングを重ねることで目標が近づいて来ます。このスピード感は慣れないうちは本当に進んでいるのだろうか？という不安に駆られがちですが、到達すると地道な努力が実を結ぶという実感が湧きます。まさに千里の道も一歩からです。



犬堀鼻を回ると東の風が強まり、波高も 1.5m に。
カヤックの先端をたたかれスピードも乗りません。
それでも我慢比べのパドリング。
桂島に近づく程、多古鼻の風裏に入り波も落ちてきました。スピードもアップ。



桂島到着。いつも遊んでいる場所なのですが、改めて海上から訪れるとオアシスに感じます。ありがたや〜感で一杯。
美しい満月の夜。一人キャンプ。

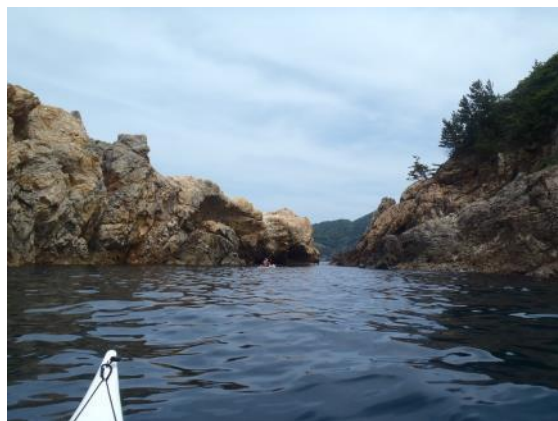
2日目 5/25（土） 天候：晴れ 風：西 3m/s 気温 13～29℃ 波高：1m 未満

2日目の桂島からは仲間が合流。一同美保関を目指します。

このあたりも入り江や洞窟が多く、どれも立ち寄りたいところですが、程ほどにして岬の先端鼻を結ぶコースをとります。どの湾も日を改めて詳しく調査したいです。



七類北岸で一休み。



一路地蔵崎へ。美保関東側は岩の景色も変わります。



黒松が松くい虫にやられていないので日本庭園のような景色も素晴らしいです。



地蔵崎を回ると大山が見えます。これまた弓ヶ浜からの風景が綱～杭に見えます。
まさにフルスケールの国引き神話を体感する瞬間です。



美保神社にお参り。その昔は海からお参りしていたのでしょう。カヤックの旅はその頃の感覚に浸ることができます。2日間に渡る海のコースが無事に終わり感謝。



5/26 (日) 天候：晴れ 風：東 4m/s 気温 16～30℃

3日目の大社への道のりはえびすだいこくマラソンをお手伝いしながらです。

朝 3:00 から駐車場誘導をし、ランナーの皆さんを送り出して 7:00 に美保神社をスタート。

カヤックで来た道を陸路から眺めるのも感慨深いものがあります。

自転車は湾の内側を通るのでカヤックとは別の視点で島根半島を回ることができます。



通過点ごとに記念撮影。最後尾から追いかけているのですが、大社にゴールするまでずっとランナーの方、サポートする人々も続いていた。どこかで人が途切れることがないのに驚きでした。そして島根半島全体が熱気に包まれる、そんな1日でした。



大社にゴール。



稲佐の浜へ到着。海に向かって右に出て正面から帰って来ました。まさに一筆書きの旅路。

第2回旅路の記録

天候と所要時間

- 1 日目 5/23(金) 天候：晴れ 風：東 7m/s 気温 15～21℃ 波高：1.5m
 稲佐浜発 6:20→桂島着 18:50 移動時間：10 時間 平均巡航速度：5km/h
- 2 日目 5/24(土) 天候：晴れ 風：午前静穏、午後 西 9m/s 気温 12～28℃
 波高：1.5m～2.0m
 桂島発 7:30→美保関着 15:30 移動時間：8 時間 平均巡航速度：5km/h
- 3 日目 5/25(日) 天候：晴れ 風：東 7m/s 気温 19～28℃
 美保神社発 7:00→出雲大社着 19:30 移動時間：12.5 時間
 走行距離：130km
 えびすだいこくマラソン最終ランナーをサポートしながらの移動

ダイジェスト写真



2013 年よりも海のステージは寒く、また波が高いのが印象的でした。
自転車ステージは気温が低い分快適に走れました。とはいっても最高気温は 28℃なのでランナーの方にはきつかったことと思います。
今回は出雲大社でランナーと大会スタッフの皆様の安全祈願お札をもらい、美保関へ届ける旅路だったので使命感も勝手にアップでした。

【今後の展望】

- ・カヤックコースを1日30km程度の3日間に分け、洞窟巡り等ゆったりとしコースを設定し、民宿を利用しながら毎年違う地区に上陸してお世話になれば海のお遍路さんのような結びつきが島根半島全体に広がるのでは。四十二浦巡りと組み合わせると海のお遍路さんのような展開も可能と思います。
- ・1周するのも良いのですが、桂島～美保関の1/2コースや、日御碕～十六島など小ブロック1～2日プランだと参加しやすい面もあります。
- ・出雲大社～美保神社というおめでたい結びつきは島根県の誇るべき財産だと思います。この結びつきをどう具現化するかはいろいろな手法があります。手法は違えど多くの方が関心を持つことでこの財産が継続されて行くことでしょう。アウトドアスポーツが新しい手法として役立てればこの上ない幸せなことです。

今までの活動でこのジャンルに生かせるのでは、と思うことは

- 1) スポーツツーリズム
- 2) 自然観察等学術的なアプローチの手段
- 3) 歴史や神話ゆかりの地を回ることでの文化継承
- 4) エクスペディション完遂するまでのチャレンジ精神、体力面、人としての成長
- 5) 旅を支える人々のつながり→もっと面白いことやってみよう

まだまだ旅を続けることで可能性は広がることでしょう。

国引き神話と出雲大社、美保神社、ここ島根半島でしか味わえない魅力を今後も探求していきたいと思っています。